Title         マメーールにあげっなして空港市した改善時40/バルズモニタリング東安の構築           Sub Title         Development of ICT-based health monitoring environment in a disaster situation in Nepal           Author         宮川, 样子(Miyagawa, Shoko)           Publication year         2019           Jutite         学事振興賃金研究成果実績報告賞 (2018.)           JaLC DOI         本研究の目的は、ネバールにおける防災・公衆衛生ブラットフォーム推進に必要となるICT環境の 構築のために必要となるシステムの要件を抽出し、災害時に言護があなばいめとする医療職がタン ムリーに増災地へハレリス)つ調査を行うことを可能してある。本 研究は、単に高速、高性能なシステムを構築することが目的ではなく、ネバールで防災や公衆衛 生ご関わるステークカルダー(本災した住民や、視災しながら見地で保健活動を継続している春塵 師等を含む)の生活状況や業務内容を違ふ、現地で実用可能なシステムを構築することがするた。まる。本 研究には、ネバール看護協会たおいてワークショッブを要託してきることを超っている。           本研究では、ネバール看護協会たおいてワークショッブを実施し、システムの機能要件の抽出およ び利用者となる災害看護師向けのトレーニング内容の検討を行った。         とらに、高日本幕用災害の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング増目に関する検討を行った。           とらに、高日本幕用災害の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング増目に関する検討を行った。         会に、市日本幕間の向けのトレーニングフロでの示唆を得ることができた。今後は、シス テムの開発、予備評価、看護師向けのトレーニングフログコの高級を行った。           シタンなるの、地ズモニタリング増目に関する検討を行った。         たちに、加きたな、今後は、シス テムの開発、予備評価           となる災害看護師向けのトレーニングフログコの高級を行った。         会に、「音趣師に向ける要となるトレーニングプログスの機能要件が明らかになった。さら に、高趣に同けて必要となるトレーニングプログコの機能を行った。           システムの規能要件が目らけてきた。今後は、シス テムの規定を行った。         会に、目前できたたま、会後は、シス テムの規定をする。           システムの規定を行った。         会に、たちをま、今後は、シス テムの規定を行った。           シス 年のの研究によって、へルンスモニタリング項目に関するしたができた。         会に、 日本語を認いためですたまのまた。           シス 年のの研究によって、たかためにないためままますのできた。           シス 年のの研究によって、シンプログロのの開発を行うた。           シス 年ののがためためのながためり、ままままかためできた。     <	T:41-	シパールにおはえいてお送用した巛実はのメルファークリング理論の構成
Author         宮川, 祥子(Mlyagawa, Shoko)           Publication         皮膚素数大学           Publication year         2019           Jatic         学事振興資金研究成果実績報告書(2018.)           Jatic DOI         本研究の目的は、ネパールにおける防災-公衆衛生プラットフォーム推進に必要となるにて環境の 構築のために必要となるシステムの要件を抽出し、災害時に蓄顔をはじめとする医療様グタイ ムリーに被拠しのハルスリスク層を若いうことでがした。ホ 研究は、単に高速・高性能なシステムを構築することが目的ではなく、ネパールで防災や公衆策 生に関わるステークホルダー(彼災した住民や、被災しながら現地で保健活動を離ししている看鞭 師事を含き)の生活状況や常熟約名を基み、現地で実用可能なシステムを構築することが見たので気が空かっナ ショナルレベルで提供するための政策提言に資する実証とすることを狙っている。 本研究では、ネパール看護協会においてワークションプを実施し、システムの機能要件が明らかになった。 さらに、西日本豪雨災害の槍災地域での現地調査および支援者へのとアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。           ぐ年度の研究によって、ヘルスモニタリング項目、関する検討を行った。 う年度の研究によって、ヘルスモニタリング項目、システムの機能要件が明らかになった。さら に、青菱師に向けて必要となるトレーニングプログラムの開発を行った。 うちに、の開発、予備評価、看護師向けのトレーニングプログラムの開発を行った。 うちの開発、予備評価、看護師向けのトレーニングプログラムの開発を行った。 うちに、面日本豪雨災害の槍災地域での現地調査および支援者へのとアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。 うちま数にあったスモンマリング項目、助調査を検討を行った。 うちに、すびの研究によって、ヘルスモニタリング項目、システムの機能要件が明らかになった。さら に、青菱師に向けて必要となるトレーニングプログラムの開発を行う。 The purpose of this research is not simply to build a high-performance system. This research and the system requirements that are necessary for establishing an ICT environment for promoting disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is not simply to build a high-performance system. This research aims to contribute to policy recommendations about provision of viable and sustainable system at the national level. In this study, we develop a system for monitoring health risks in a timely manner. Disaster nurses trained by the Nursing Association in Nepal to identify the functional requirements of the system, and examined the health monitoring items that would be necessary in disaster in West Japan, and examined the health monitoring items affected by the heavy rin disaster in West Japan, and examined the healt	Title	ネパールにおけるICTを活用した災害時のヘルスモニタリング環境の構築
Publisher         夏爆発動大学           Publication year         2019           Jittle         学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)           JaLC DOI         Abstract           Abstract         本研究の目的は、ネパールにおける防災-公衆衛生プラットフォーム推進に必要となるICT環境の 構築のために必要となるシステムの要件を抽出し、災害時に言葉師をはじめとする医療能力なる。本 研究は、単に高速・高性能なシステムを構築することが目的ではなく、ネパールで防災や公衆衛 生に関わるステークホルダー(被災した住民や、被災しながら現地で保健活動を継続している看護 前等を含む)の生活状況や業務内容を盛み、現地で実用可能なシステムを特続可能な方法でかつナ ショナルレベルで提供するための政策提言に資する実証とすることを狙っている。 本研究では、ネパール看護協会が実施しているトレーニングを受けた災害看護師がりかしレーンングするために必要となるシステムの機能要件の抽出およ び利用者となる災害者護師向けのトレーニングの空を強化、システムの機能要件の抽出およ び利用者となる災害者護師向けのトレーニングの空を強化、システムの機能要件の抽出およ び利用者となる災害者護師向けのトレーニングで回答の検討を行った。           とら、西日本豪雨災害の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。           とら、西日本豪雨災害の被災地域での現地調査および支援者へのとアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。           クキ度の研究によって、ヘルスモニタリング項目、システムの機能要件が明らかになった。さら に、看護師に向けて必要となるトレーニングについての示唆を得ることができた。今後は、シス テムの開発、予備開発、看護前やりトレーレーングブログブの内発を行う。           アムの開発、予備開発、電節前やりトレーニングのの開発を行う。           アムの見解子、行用に、音響前やりかしたした。ジブブログラムの関発を行う。           アムの開発、予防調作者、電節前やりトレーニングにのの実後を得ることができた。今後は、シス テムの開発、予備調子、電話加入きためトレーニングについての実像を見ることができた。今後は、シス テムの開発、予備開入           Abstract         小時 research is to extract the system requirements that are necessary for establishing an ICT environment for promoting disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is not simply to build a high-speed and high-performance system. This research aims to contribute to policy recommendations about provision of viable and sustainable system at the national level.           In this study, we develop a system for monintoring health fisks in a timely manner. Disaster		
Publication year         2019           Jutte         学事振興資金研究成果実練報告書(2018.)           Jatc DOI           Abstract         本研究の目的は、ネパールにおける防災-公案衛生ブラットフォーム推進に必要となるICT環境の 構築のために必要となるシステムの要件を抽出し、災害時に電腦師をはじめとする医療酸プタイ ムリーに被災地のヘルスリスク画素を行うことを可能とするシステムを構築することである。本 研究は、単に高速、寄住能なシステムを構築することが目的ではなく、ネパールで防災や公衆衛 生に関わるステークナルダー(彼じした住民や、彼じしながう見地で保健活動を構成している言腹 前等を含む)の生活状況や葉筋内容を鑑み、現地で実用可能なシステムを特続可能な方法でかフナ ショナルレベルで提供するための政策提言に貸する実証とすることを狙っている。           本研究では、ネパール看護協会が実施しているトレーニングを受けた災害看護師が、災害時に適 時にヘルスリスクをモニタリングするために必要となるシステムを構築するの単定をなる2019 中度には、ネパール看護協会においてワークショップを実施し、システムの機能要件の抽出およ び利用者となる災害看護師内けのトレーニング内容の検討を行った。           さらに、西日本素雨災害の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。           さらに、石目本表面災多の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。           たてきたータンング目に関する検討を行った。           さらに、石目本素面災害の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるへルスモニタリング項目に関する検討を行った。           たて着面の研究によって、ヘルスモニタリング項目、システムの機能要件が明らかになった。さら に、看護師に向けて必要となるトレーニングについのの原始を行う。 The purpose of this research is not singliby to build a high-performance system. This research is not singliby to build a high-performance system. This research is not singliby to build a high-performance system. This research aims to contribute to policy recommendations about provision of viable and sustainable system at the national level.           In this study, we develop a system for monitoring health risks in a timely manner. Disaster nurses trained by the Nursing Association in Nepal to identify the functional requirements of the system, preliminary evaluation and training program for nurses.           In addition, we conducted field surveys and interviews with supporters in areas affected by the heavy rain disaster in We		
Jittle         学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)           Jat C DOI         本研究の目的は、ネパールにおける防災-公衆衛生ブラットフォーム推進に必要となるICT環境の 構築のために必要となるシステムの要件を抽出し、災害時に看護師をはじめとする医療職グタイ ムリーに被災地のヘルスリスク調査を行うことを可能とするシステムを構築することである。本 研究は、単に高速、畜性能なシステムを構築することが目的ではなく、ネパールで防災や公衆衛 世に関わるステークホルダー(彼災した住民や、被災しながら現地で保護活動を継続している香護 簡等を含む)の点光状況や薬術内容を継続、現地で実用可能なシステムを持続可能なた、ネパールで防災や公衆衛 世に関わるステークホルダー(彼災した住民や、被災しながら現地で保護活動を継続している香護 簡等を含む)の点光状況や薬術内容を継続、現地で実用可能なシステムを持続可能なたがでかウ ショナルレベルで提供するための政策提言に資する実証とすることなを狙っている。 本研究では、ネパール看護協会がおいてワークショップを実施し、システムの構能要件の加出およ び利用者となる災害看護師向けのトレーニング内容の検討を行った。 さらに、西日本裏雨災害の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。 さらに、西日本裏両災害の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。 う年度の研究によって、ヘルスモニタリング項目、システムの機能要件が明らかになった。さら に、香醋師に向けて必要となるトレーニングについての示唆を得ることができた。今後は、シス テムの開発、予備評価、看護師向けのトレーニングブログラムの関税を行う。 The purpose of this research is to extract the system requirements that are necessary for establishing an ICT environment for promoting disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is to extract the system requirements that are necessary for establishing an ICT environment for promoting disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is not simply to build a high-speed and high-performance system. This research ains to contribute to policy recommendations about provision of viable and sustainable system at the national level.           In 1019, the first year, We held a workshop in the Nursing Association in Nepal to identify the functional requirements of the system and to consider the training content for disaster nurses trained by the Nursing Association in Nepal are assumed as a user of this system.            In 2019, the first year, We held a workshop in the Nursing Association in Nepal to identify the functional requirements of the system and to consider the training content for disaster nurses trained by the		
JalC DOI Abstract Abstract Abstract Acmin Acm	-	
Abstract         本研究の目的は、ネパールにおける防災-公衆衛生ブラットフォーム推進に必要となるにて環境の 構築のために必要となるシステムの要件を抽出し、災害時に看護師をはじめとする医療関ケタイ ムリーに乾災地のヘルスリスク問塞を行うことを可能とするシステムを構築することである。本 研究は、単に高速・高性能なシステムを構築することが目的ではなく、メパールで防災や公衆衛 世に関わるステークトルダー(彼じした住民や、彼じしかく日気地で保護動を継続している考慮 節等を含む)の生活状況や単務内容を鑑み、現地で実用可能なシステムを構築することである。 本研究では、ネパール看護協会が実施しているトレーニングを受けた災害者環師が、災害時に適 時にヘルスリスクをモニタリングするために必要となるシステムを構築する和用生産なる2019 年度には、ネパール看護協会においてワークショップを実施し、システムの機能要件の利用生たなる2019 年度には、ネパール看護協会においてワークショップを実施し、システムの機能要件の加出はあよ び利用者となる災害看護師向けのトレーニング内容の検討を行った。           さらに、西日本豪雨災害の施災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。           さらに、西日本豪雨災害の施災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要しなるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。           う年夏の研究によって、ヘルスモニタリング頃の目、システムの機能要件が明らかになった。さら に、着簡師に向けて必要となるトレーニングについての示唆を得ることができた。今後は、シス テムの開発、予備評価、看護師向けのトレーニングプログラムの開発を行う。 The purpose of this research is not simply to build a high-speed and high-performance system. This research aims to contribute to policy recommendations about provision of viable and sustainable system at the national level.           In this study, we develop a system for monitoring disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is not simply to build a high-speed and high-performance system. This research aims to contribute to policy recommendations about provision of viable and sustainable system at the national level.           In 1019, the first year, We held a workshop in the Nursing Association in Nepal to identify the functional requirements of the system and to consider the training content for disaster nurses trained by the Nursing Association in Nepal are assumed as a user of this system.           In 2019, the first year, We held a workshop in the Nursing Association in Nepal to identify the functional requirements of the system and to consider the training content for disaster nurses trained		学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
構築のために必要となるシステムの要件を抽出し、災害時に看護師なばいめとする医療職がタイ ムリーに被災地のヘルスリスク調査を行うことを可能とするシステムを構築することである。本 研究は、単に高速・高性能なシステムを構築することが目的ではなく、ネバールで防災や公衆衛 生に関わるステークホルダー(被災した住民や、被災しながら現地で保健活動を継続している看護 師等を含む)の生活状況や業務内容を進み、現地で実用可能なシステムな特続可能な方法でかつナ ショナルレベルで提供するための政策提言に資する実証とすることを狙っている。 本研究では、ネバール看護協会が実施しているトレーニングを受けた災害看護師が、災害時に通 時にヘルスリスクをモニタリングするために必要となるシステムな構築する。初年度となる2019 年度には、ネバール看護協会においてワークショップを実施し、システムの機能要件の抽出およ び利用者となる災害看護師向けやトレーニング内容の検討を行った。 さらに、西日本豪雨災害の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。 今年度の研究によって、ヘルスモニタリング項目、システムの機能要件が明らかになった。さら に、看護師に向けて必要となるトレーニングについての示唆を得ることができた。今後は、シス テムの開発、予備評価、看護師向けのトレーニングプログラムの関発行う。 The purpose of this research is to extract the system requirements that are necessary for establishing an ICT environment for promoting disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is to extract the system requirements that are necessary for establishing an ICT environment for promoting disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is to extract the system requirements that net necessary for establishing an ICT environment for promoting disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is to extract the system requirements that platform in Nepal. The purpose of this research is to extract the system nat public health platform in Nepal. The purpose of this research is to extract the system national a public health platform in Nepal. The purpose of this research is not simply to build a high-speed and high-performance system. This research aims to contribute to policy recommendations about provision of viable and sustainable system at the national level. In addition, we conducted field surveys and interviews with supporters in areas affected by the heavy rain disaster in West Japan, and examined the health monitoring items that would be necessary in the event of a disaster. This year's research revealed health monitoring items that would be necessary in the event of a disaster. This year	JaLC DOI	
さらに、西日本豪雨災害の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に 必要となるヘルスモニタリング項目に関する検討を行った。 今年度の研究によって、ヘルスモニタリング項目、システムの機能要件が明らかになった。さら に、看護師に向けて必要となるトレーニングについての示唆を得ることができた。今後は、シス テムの開発、予備評価、看護師向けのトレーニングブログラムの開発を行う。 The purpose of this research is to extract the system requirements that are necessary for establishing an ICT environment for promoting disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is not simply to build a high-speed and high-performance system. This research aims to contribute to policy recommendations about provision of viable and sustainable system at the national level. In this study, we develop a system for monitoring health risks in a timely manner. Disaster nurses trained by the Nursing Association in Nepal are assumed as a user of this system. In 2019, the first year, We held a workshop in the Nursing Association in Nepal to identify the functional requirements of the system and to consider the training content for disaster nurses who will be users. In addition, we conducted field surveys and interviews with supporters in areas affected by the heavy rain disaster in West Japan, and examined the health monitoring items that would be necessary in the event of a disaster. This year's research revealed health monitoring items and functional requirements of the system. Furthermore, suggestions on the training needed for nurses are gained through the field survay. In the further research, We will develop the system, preliminary evaluation and training program for nurses. Notes	Abstract	構築のために必要となるシステムの要件を抽出し、災害時に看護師をはじめとする医療職がタイムリーに被災地のヘルスリスク調査を行うことを可能とするシステムを構築することである。本研究は、単に高速・高性能なシステムを構築することが目的ではなく、ネパールで防災や公衆衛生に関わるステークホルダー(被災した住民や、被災しながら現地で保健活動を継続している看護師等を含む)の生活状況や業務内容を鑑み、現地で実用可能なシステムを持続可能な方法でかつナショナルレベルで提供するための政策提言に資する実証とすることを狙っている。 本研究では、ネパール看護協会が実施しているトレーニングを受けた災害看護師が、災害時に適時にヘルスリスクをモニタリングするために必要となるシステムを構築する。初年度となる2019
<ul> <li>に、看護師に向けて必要となるトレーニングについての示唆を得ることができた。今後は、シス テムの開発、予備評価、看護師向けのトレーニングプログラムの開発を行う。 The purpose of this research is to extract the system requirements that are necessary for establishing an ICT environment for promoting disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is not simply to build a high-speed and high-performance system. This research aims to contribute to policy recommendations about provision of viable and sustainable system at the national level.</li> <li>In this study, we develop a system for monitoring health risks in a timely manner. Disaster nurses trained by the Nursing Association in Nepal are assumed as a user of this system.</li> <li>In 2019, the first year, We held a workshop in the Nursing Association in Nepal to identify the functional requirements of the system and to consider the training content for disaster nurses who will be users.</li> <li>In addition, we conducted field surveys and interviews with supporters in areas affected by the heavy rain disaster in West Japan, and examined the health monitoring items that would be necessary in the event of a disaster.</li> <li>This year's research revealed health monitoring items and functional requirements of the system. Furthermore, suggestions on the training needed for nurses are gained through the field survay. In the further research, We will develop the system, preliminary evaluation and training program for nurses.</li> <li>Notes</li> <li>Genre</li> <li>Research Paper</li> </ul>		さらに、西日本豪雨災害の被災地域での現地調査および支援者へのヒアリングを行い、災害時に
trained by the Nursing Association in Nepal are assumed as a user of this system.In 2019, the first year, We held a workshop in the Nursing Association in Nepal to identify the functional requirements of the system and to consider the training content for disaster nurses who will be users.In addition, we conducted field surveys and interviews with supporters in areas affected by the heavy rain disaster in West Japan, and examined the health monitoring items that would be necessary in the event of a disaster.This year's research revealed health monitoring items and functional requirements of the system. Furthermore, suggestions on the training needed for nurses are gained through the field survay. In the further research, We will develop the system, preliminary evaluation and training program for nurses.NotesImage: Construction of the system of the further research is the system of the further research.NotesImage: Construction of the system of		に、看護師に向けて必要となるトレーニングについての示唆を得ることができた。今後は、シス テムの開発、予備評価、看護師向けのトレーニングプログラムの開発を行う。 The purpose of this research is to extract the system requirements that are necessary for establishing an ICT environment for promoting disaster prevention and public health platform in Nepal. The purpose of this research is not simply to build a high-speed and high-performance system. This research aims to contribute to policy recommendations about provision of viable and
functional requirements of the system and to consider the training content for disaster nurses who will be users.         In addition, we conducted field surveys and interviews with supporters in areas affected by the heavy rain disaster in West Japan, and examined the health monitoring items that would be necessary in the event of a disaster.         This year's research revealed health monitoring items and functional requirements of the system. Furthermore, suggestions on the training needed for nurses are gained through the field survay. In the further research, We will develop the system, preliminary evaluation and training program for nurses.         Notes       Genre		
heavy rain disaster in West Japan, and examined the health monitoring items that would be necessary in the event of a disaster.This year's research revealed health monitoring items and functional requirements of the system. Furthermore, suggestions on the training needed for nurses are gained through the field survay. In the further research, We will develop the system, preliminary evaluation and training program for nurses.NotesResearch Paper		functional requirements of the system and to consider the training content for disaster nurses who
Furthermore, suggestions on the training needed for nurses are gained through the field survay. In the further research, We will develop the system, preliminary evaluation and training program for nurses.         Notes         Genre       Research Paper		heavy rain disaster in West Japan, and examined the health monitoring items that would be
Genre Research Paper		Furthermore, suggestions on the training needed for nurses are gained through the field survay. In the further research, We will develop the system, preliminary evaluation and training program for
	Notes	
URL https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=201800005-20180087	Genre	Research Paper
	URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180087

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2018 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	看護医療学部	職名	准教授	I Nation	1000 (##4) 7 00
	氏名	宮川 祥子	氏名(英語)	Shoko Miyagawa	─ 補助額	1,000(特A)千円
· · · · · ·		 	· 开究課題(日本語	吾)		
ネパールにおけ	tる ICT を活用	した災害時のヘルスモニタリン	ング環境の構築			
			研究課題(英訳			
Development o	f ICT-based he	ealth monitoring environment i	in a disaster situ	ation in Nepal		
			研究成果実績の			
要件を抽出し、 築することであ ークホルダー(ネ	災害時に看護 る。本研究は、 波災した住民や	おける防災-公衆衛生プラット 師をはじめとする医療職がタ 単に高速・高性能なシステム 、被災しながら現地で保健活 能な方法でかつナショナルレー	イムリーに被災」 を構築すること。 動を継続してい	地のヘルスリスク調査を行う が目的ではなく、ネパールで る看護師等を含む)の生活状	ことを可能とする 防災や公衆衛生 :況や業務内容を	らシステムを構 Eに関わるステ E鑑み、現地で
ために必要とな	るシステムを構	会が実施しているトレーニン・ 構築する。初年度となる 2019 そとなる災害看護師向けのトレ	年度には、ネパ・	ール看護協会においてワーク		
さらに、西日本 関する検討を行		災地域での現地調査および支	を援者へのヒアリ	ングを行い、災害時に必要と	なるヘルスモニ	タリング項目に
		スモニタリング項目、システム とができた。今後は、システム	の開発、予備評	西、看護師向けのトレーニン?		
			民成果実績の概要			
promoting disa	ster preventior rmance system	n is to extract the system r n and public health platform i n. This research aims to cont	n Nepal. The pu	rpose of this research is no	t simply to build	l a high-speed
		rstem for monitoring health ri er of this system.	sks in a timely n	nanner. Disaster nurses train	ed by the Nursi	ng Association
		ld a workshop in the Nursing ontent for disaster nurses wh		lepal to identify the function	al requirements	of the system
		d surveys and interviews with g items that would be necess	••		ain disaster in W	est Japan, and
	d for nurses a	I health monitoring items and re gained through the field				
evaluation and	training program		立め細菌に用み	- 7 改主		
発表者		発表課題名	研究課題に関す	発表学術誌名	学術誌	
(著者・		(著書名・演題)		著著発行所・講演学会)	(著書発行年)	き・講演年月)
Shoko Miyagaw	a, et.al.	The ICT-Assisted Disaster in Nepal: The Requireme Mobile App and Training F in EpiNurse Project	ent for on Info	-	Dec. 5, 2018	
Shoko Miyaga Hatayama	wa, Michinori	Visualizing Non-Gove Disaster Relief Activitie Smooth Coordination	ernment 9th In es for Integrat Manage	ed Disaster Risk	Oct. 4, 2018	